

# 2019年度関東大学バレーボールリーグ戦

## 競技・審判上の確認・注意事項(案)

1. 本大会は2019年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。  
※ただし、ベンチメンバーの構成は従来どおりとする。
2. 本大会は5セットマッチとする。  
(但し、男子4部～9部、女子4部～9部は3セットマッチで行う。)
3. 全試合原則5ボールシステムにて行う。しかし、直轄外リーグは3ボールシステムで試合を行っても良い。  
従って、ラリー後のボールは速やかにコート外へ出すこと。相手コートに転がした場合は遅延の対象となるので注意すること。
4. 試合当日のエントリーについて
  - 1) 構成メンバー届を各会場受付へ前試合の第1セット終了までに提出し確認を受けること。  
※第1試合の場合は試合開始30分前までに提出すること。
  - 2) 構成メンバー届提出後のエントリー変更は一切認めない。また、部長以外(監督・コーチ・トレーナー・マネージャー)の役員を変更する場合は臨時役員変更届を提出すること。  
※ただし、この場合は締切日に、スタッフの追加登録がなされていなければならない。  
第一回締切→8月28日(9月の試合に出場可能)  
第二回締切→9月25日(10月の試合に出場可能)  
※どちらの締切日も18:00以降のメールは一切認めない
  - 3) 全日本大学バレーボール連盟及び公益財団法人日本バレーボール協会に登録されていない選手、スタッフ、及び本大会にエントリーされていない選手またはスタッフが試合に出場したとき以下のように取り扱う。  
①試合中に発覚した場合 → 6人制競技規則7.3.5.4に沿って処分をする。  
②試合終了後に発覚した場合 → 没収試合とする。
  - 4) スタッフに関しては、該当大学生以外の場合は全日本大学バレーボール連盟に登録されていれば全ての役職を行うことができる。  
該当大学生の場合は、全日本大学バレーボール連盟及び公益財団法人日本バレーボール協会に登録されている者のみ全ての役職を行うことができる。(マネージャーは該当大学生のみ。但し、女子大学の場合男子学生は行うことはできない。)
  - 5) 部長は当該大学の教職員でなければいけない。全日本大学バレーボール連盟にスタッフ登録がされていない場合、監督・コーチ・トレーナーの役職にはなれない。
5. ユニフォームについて
  - 1) ユニフォームのナンバーの大きさは胸部の高さが最小限15cm、背部の高さは最小限20cm、ナンバーの字幅は最小限2cmのものでなければならない。上記以外のユニフォームの着用は認めない。
  - 2) ユニフォームのナンバーの色は、ユニフォームと対照的な色(はっきりと区別がつく色)と明るさでなければならない。
  - 3) チームキャプテンは長さ8cm、幅2cmのユニフォームと異なった色のマークを胸の番号の下に明瞭に付けること。
  - 4) ベリーショートソックスのような短いソックスを履いてのゲームへの参加は禁止する。
  - 5) アンダーウオーマー、スパッツ及びコルセットについてはユニフォームの下に隠れるように着用し、外部に露出しないように注意すること。
6. 選手交代の手順について
  - ① 選手交代を要求するときは、交代選手をサブスティテュションゾーンに入れる。複数の場合は、同時にサブスティテュションゾーン出向させる。その際、選手が準備出来ていない場合は、拒否して遅延の罰則を適用する。

※ 交代選手がサービスホイッスル後にサブスティチューションゾーンに入った場合は、不当な要求で拒否する。

※ 交代選手がサービスのホイッスル後にサブスティチューションゾーンに入り副審がホイッスルした場合（ブザーを押した場合）は、遅延の罰則とする。

② 副審が許可した後、選手交代をキャンセルした場合は、遅延の罰則を適用する。

③ 交代する選手は、サイドライン上に止まり手を上げ副審の合図で交代する。

④ 記録員は記録用紙への記入が完了したら両手を挙げる。

⑤ 複数の選手交代の場合は副審の指示に従う。

## 7. リベロプレーヤーについて

1) リベロプレーヤー（以下リベロとする）は、チームキャプテンとゲームキャプテンにはなれない。

2) リベロはエントリーした選手が13名以上の場合には必ず2名登録しなければならない。エントリーした選手が12名以下の場合0～2名の中で登録できる。

3) リベロの着用するユニフォームは、他の競技者とははっきりと区別がつく色（対照的な色）でなければならない。（例：競技者の胸の部分が紺色で裾の部分が白色の場合、リベロの胸が白色で袖が紺色のような反対デザインものは禁止とする）

4) リベロと他の競技者とのユニフォームの色が共に2色以上を用いる場合、それぞれが同色を用いないように注意すること。

5) ビブスの着用は認められない。

6) リベロの再指名について

- ・チームに登録されているリベロ（1人もしくは2人）すべてが、負傷、病気、退場、失格等によりプレーをすることができないと宣言された時、監督（監督不在の場合はゲームキャプテン）はその時点でコート上にいない他の選手（リベロと入れ替わった選手を除く）を、その試合終了までリベロとして再指名することができる。

リベロが試合中に負傷、体調不良、プレーの調子が悪いときリベロを再指名することができる。

リベロを再指名する場合はリベロ以外のプレーヤーをリベロとする。その際、ユニフォームは通常のもので構わないがビブスを着用する。また次セット以降はリベロのユニフォームでなければならない。

### <リベロ再指名の方法>

① 監督が、副審に口頭で「リベロの再指名」を要求（ハンドシグナルは示さない）。リベロと再指名される選手は、準備をしてリベロリプレイスメントゾーンに立っていないなければならない。（ナンバーパドル使用の場合は持っていること）（アクティngrリベロと同じユニフォームかビブスを着用する）

② 副審は吹笛し、スコアラーに再指名であることを口頭で伝える。ハンドシグナルは示さない。

③ スコアラーはアシスタントスコアラーに再指名できるか確認し、片方の手を上げる。

④ 副審は、リベロの再指名を許可する。

⑤ スコアラーは、記録用紙のリマーク欄に、アシスタントスコアラーはリベロコントロールシートのコラムにそれぞれの変更を記載する。

※セット間に再指名をしたい時は、監督は副審に伝える。副審は、次のセットのスターティングメンバー確認後、リベロの再指名の手続きを行う。

※リベロとして再指名された選手は、その試合を通じてリベロとして試合に出場し、プレーすることができる。チームに登録されていたリベロは、その試合に戻ることはできない。

◆セット間にリベロを再指名したいときは、監督は、リベロを再指名することを副審に伝える。副審は、スターティングメンバーの確認をした後、リベロの再指名を行う。

## 8. 競技進行に関する設定時間について

1) 競技進行に関する設定時間は次のとおりである。

①試合間は、主審が記録用紙にサインした後15分後にプロトコールに入る。

②ネットの張替がある場合は、張替え終了5分後にプロトコールに入る

③試合中に停電が発生した場合は、ルールに則り、全灯してから15分後に試合を再開する。

2) チームが正当な理由なしに定められた時間までに競技場に現れない場合は、不戦敗を宣告される。その為、会場には余裕を持って到着しておくこと。また、試合の進行状況によってはコートを変更して行う場合もあるので、他のコートの進行状況にも注意しておくこと。

・定められた時間とは以下のように定義する。

①試合開始時刻が設定されている場合は、試合開始時刻より15分後までとする。

②試合開始時刻が設定されていない場合は、プロトコール終了より15分後までとする。

3) 監督の場合は、ゲームキャプテンは監督が来たことをラリー間に伝え、審判が確認したら権利を行使することができる。監督はセット間もしくは試合終了後に記録用紙にサインする。監督以外のスタッフや選手は正しくエントリーされていれば途中でも参加することができる。

## 9. 公式練習について

1) 公式練習はサーブ権を得たチームからそれぞれ5分間ずつ、合同の場合は10分間とする。但し、第1試合の場合また練習会場が整っている場合は、それぞれ3分間ずつ、合同の場合は6分間とする。

2) 公式練習前に監督及びチームキャプテンは、第1セットのライン・アップ・シートを副審または記録員に提出すること。但し、記録員が記録用紙に記入した後、ライン・アップ・シートの訂正は認められない。

3) 公式練習にはベンチに着席を認められた部長・監督・コーチ・トレーナー・マネージャーと本リーグ戦にエントリーされている選手(但し最大18名とする)のみが公式練習に参加することができる。クイックモッパ―2名については**ボールキーパー**としての参加を認める。

4) 競技場の安全を確保するためにボールカゴおよび部旗等は試合開始後に競技エリアから外側へ下げること。部旗は壁に立て掛けず、床に置くこと。

## 10. チーム役員について

1) 部長・監督は原則として季節に応じた正装とする。但し、トレーニングウェアを着用する場合は統一されたものを着用すること。

2) 競技中の中断の要求が出来るのは監督とゲームキャプテンだけである。

3) 監督のみ、試合中に妨害あるいは遅延を行わない限り、アタックラインの延長線からウォームアップエリアまでの、フリーゾーンの内からの指示を認める。

但し、審判員の判定に対するアピールや抗議、または監督自身がライン判定をすることを禁止する。(このような行為は制裁の対象となる)

4) 試合中、相手チームに対して、選手を牽制するような言動は認められない。(相手チーム選手の番号や名前を特定する行為) このような行為は制裁の対象となる。

5) 部長・監督・コーチ・トレーナー・マネージャーはそれぞれの役員章をつけなければベンチに座ることができない。

## 11. 学生役員について

1) 記録員(2名)、ラインジャッジ(4名)、点示員(2名)、ボール・リトリバー(6名) ボールコントローラー(2名)の計16名はあらかじめ指定したチームが必ず行うこと。

2) 学生役員は第1試合の場合、プロトコール開始10分前、第2試合以降は前試合終了後速やかに記録席前に集合すること。

3) チームで統一された服装で行うこと。

## 1 2. ワイピング行為について

- 1) クイックモッパーパーがいないチームでゲーム中のワイピングはコートの手が選手が行うこと。
- 2) クイックモッパーパーは2名チームから選出し、服装はプレーヤーと区別がつく異なる色の統一されたもので、ベンチの両側に1名ずつ待機すること。
- 3) クイックモッパーパーの応援ならびにチームのマネージメント行為（ドリンク・アイシング作り等）は一切禁止とする。それらの行為は警告の対象となるので、注意すること。
- 4) モッパーパーは、安全性を考慮して床に置いておくこと。
- 5) 試合開始前、タイムアウト、及びセット間におけるワイピングはベンチの控え選手または、クイックモッパーパーが必ず行うこと。

## 1 3. 試合前の待機中のチームについて

- 1) 前試合終了後の挨拶が終了するまでアリーナに入ることを禁止する。また、部旗を持ち声を出しながら他のコートを走り回る等の行為を禁止する。
- 2) 試合終了後の挨拶が終了するまでアリーナの外で待機すること。（その際ボールは持たない）

## 1 4. 棄権について

リーグ戦開幕以降の棄権、または没収試合に関しては棄権をしたチーム、没収試合の対象となるチームの得点を0点とし、セットカウント0-2または0-3とし負けとなる。1試合棄権で各部最下位、過半数試合棄権で最下部最下位となる。

## 1 5. 規律委員会について

競技違反、規則・規定違反があった際、ただちに規律委員会を開催し処分を決定する。  
規律委員会の決定には従わなくてはならない。

## 1 6. 給水の為のタイムアウトについて

熱中症予防の観点から、室内温度が30度以上の場合、「給水のためのタイムアウト」を採用する。

以上

(一財) 関東大学バレーボール連盟